



社会福祉法人 恩賜財団

10月号

愛知県同胞援護会だより

第231号

平成19年10月16日発行



「少女剣士」

撮影：中井義行さん（東山デイサービスセンター利用者）

目次

春日井・豊田グループ……………P.2～3	とよた苑……………P.10～12
春緑苑……………P.4～6	若草苑……………P.13
第2春緑苑……………P.7～8	サンホーム豊田……………P.14
春日苑……………P.9	春日井・豊田グループ……………P.15～16

法人事務局

〒487-0031 愛知県春日井市廻間町703-1 TEL 0568-88-8302 FAX 0568-88-0306
URL <http://www.mc.ccnw.ne.jp/aichi-douen/>
e-mail: douen@mc.ccnw.ne.jp

いつまでモ
お元気で

平成19年度

長寿番付表

東

西

103歳	井上	義子	特養春緑苑	横綱	103歳	梶田	ヲハ子	特養春緑苑
102歳	松田	静之	第2春緑苑	大関	102歳	山地	キヨ	とよた苑
101歳	山内	雪乃	特養春緑苑	関脇	101歳	長縄	すゝ	第2春緑苑
100歳	山築	雪金	とよた苑	小結	100歳	松田	ふさ子	特養春緑苑
100歳	鶴飼	金静	特養春緑苑	小結	99歳	松井	くに	特養春緑苑
99歳	戸谷	達也	第2春緑苑	前頭筆頭	99歳	塩谷	つや子	とよた苑
99歳	深水	津こ	とよた苑	前頭二	98歳	柴田	フキ	とよた苑
98歳	水川	野ふ	第2春緑苑	前頭三	98歳	山内	トモ	とよた苑
98歳	川合	シズ	とよた苑	前頭四	97歳	寺田	重子	特養春緑苑
97歳	高橋	幸	とよた苑	前頭五	97歳	渡部	ハル	特養春緑苑
97歳	早川	フジ	グループ春緑苑	前頭六	97歳	内山	千代子	特養春緑苑
97歳	早稲	垣和	ケア春緑苑	前頭七	97歳	大嶋	キクエ	第2春緑苑
97歳	佐々木	ふみ	第2春緑苑	前頭八	97歳	櫛田	やあ	特養春緑苑
97歳	横山	ヨシヲ	ケア豊田	前頭九	97歳	澤原	多嘉子	特養春緑苑
96歳	伊藤	秀次郎	第2春緑苑	十両筆頭	96歳	河原	かなえ	とよた苑
96歳	深見	千代子	とよた苑	十両二	96歳	森比	佐子	第2春緑苑
96歳	鬼頭	ヲナ	第2春緑苑	十両三	96歳	中島	幸子	特養春緑苑
96歳	伊藤	藤世	特養春緑苑	十両四	96歳	柴田	イワ	第2春緑苑
96歳	加藤	芳子	ケア春緑苑	十両五	96歳	山田	とめ	特養春緑苑
96歳	加藤	ふき	第2春緑苑	十両六	96歳	柘植	みのる	特養春緑苑
96歳	明石	筆子	第2春緑苑	十両七	95歳	鈴木	かつ	とよた苑
95歳	阿部	たい	特養春緑苑	十両八	95歳	伊藤	みとめ	特養春緑苑
95歳	佐藤	君子	第2春緑苑	十両九	95歳	伊藤	すが子	特養春緑苑
95歳	鈴木	ウメ	特養春緑苑	十両十	95歳	竹本	知恵子	とよた苑
95歳	中嶋	善一	特養春緑苑	十両十一	95歳	柏深	テツ	とよた苑
95歳	伊藤	藤玉	第2春緑苑	十両十二	95歳	若杉	とみ子	特養春緑苑
95歳	伊末	満壽子	特養春緑苑	十両十三				

略称	施設名
特養春緑苑	特別養護老人ホーム春緑苑
ケア春緑苑	ケアハウス春緑苑
グループ春緑苑	グループホーム春緑苑
第2春緑苑	特別養護老人ホーム第2春緑苑
とよた苑	特別養護老人ホームとよた苑
ケア豊田	ケアハウス豊田

※年齢は12月末現在の数え年表記です。平成19年9月末に入所している95歳以上の施設入所者を対象としています。また、番付は生年月日順になっています。



(敬称略)

こんなサービス やっています!

訪問入浴サービス編

訪問入浴サービスでは、高齢者、障がい者の方のご自宅に訪問して、入浴サービスを行っています。そこで、今回は春緑苑訪問入浴サービスと、とよた苑訪問入浴サービスの取り組みについて紹介します。



春緑苑

週に1度、スタッフでミーティングを行い、利用者さん一人ひとりに最良のサービスが提供できるように、職員の意識統一を図っています。



▲より良いサービスを提供できるように話し合っています。

入浴には、約タタミ2畳分の広さがあれば大丈夫。マンションや



▲スッキリ気持ちよくなっていたくために入浴後は爪切りも行います。

アパートなどでエレベーターがないお宅でも浴槽を担いで訪問します。

利用者さんがより快適に入浴サービスを利用できるように、色々な会話の中で利用者さんがどのような希望を持ってみえるかをお聞きし、その希望に少しでも多く心えられるように努めています。現在は、入浴後の爪切りや、歌の好きな方への歌のサービスなどを行っています。

お問い合わせ先

電話
(0568)8618303
担当 城田

とよた苑

できる限り看護職員2人、介護職員1人で訪問させていただいています。看護職員2人のメリットは、なんととっても安心感。病気の発見やアドバイスなど、2人の知識と経験に基づいて対応できます。

訪問入浴車の駐車が遠方ではできない場合なども、何度も車と



▲「中々くり」室に入浴サービス笑顔を会話も楽しみます。

利用者さんのお宅を往復し、サービス提供しています。夏場はトレーニングをした後のように汗たくさんになりますが、利用者さんの笑顔のためにがんばっています!

お問い合わせ先

電話
(0565)8811700
担当 倉知

【お知らせ】

バスタオルを事業所で用意するなど、利用しやすい工夫を凝らしております。ご自宅での入浴に関する疑問、要望など、お気軽にご相談ください。

春緑苑

皆で長寿をお祝い

9月の敬老月間は楽しい行事が目白押しです。

まず、7日(金)は春緑苑敬老会を開催し、たちはな寿司さんによる寿司慰問と一胡演奏があり、美味しいお寿司にお酒、素晴らしい音色に酔いしれました。また、17日(月)には総合体育館で行われた春日井市主催の敬老会へ参加し、20日(木)には高蔵寺幼稚園の園児の皆さんによる歌と楽器による可愛らしいお遊戯を観賞し、皆さんで楽しく長寿をお祝いしました。



▲アジア胡琴音楽院さくらの会様による一胡演奏



▲本当に皆さんかわいらしいですね



▶たちはな寿司の大将と一緒にがんばり

さんの

春緑苑行事アルバム



▲9月14日(金)春日井東高校体育祭
高校生の皆さんから元気もらいます

彼岸法要

9月23日(日)に秋の彼岸法要を行い、春緑苑開設以来の343名の故者の皆様のご冥福をお祈り申し上げます。



▲故人を偲びます

利用者作品展

赤いラン

友と仲良き

思い出も



▶利用者 高井正子さん作

俳句

新幹線

すすきを伏せて

行く速さ

利用者 竹内一豊さん作

10・11月の行事予定

- 10月18日(木) レントゲン撮影
- 10月19日(金) 月例祭
- 10月30日(火) 誕生会

地域包括支援センター

10月の介護予防教室の予定

「足指、爪のケア」
～その意義と効果～

- 【日時】 10月23日(火)(予定)
14時～15時30分
- 【講師】 名古屋徳洲会総合病院
皮膚科医師
小林桂子氏
- 【会場】 東部市民センター
第2集会室
- 【定員】 45名
(定員になり次第申込み
締め切りになります)

【参加費】 無料
【申し込み先】

電話 (0568) 88-8303
FAX (0568) 88-7938
メール chihikihokatsu@douen.or.jp
担当 太田、加藤、水野、寺井



十五夜のお月見団子作り



▲皆さん一緒にくるくる丸めて…お団子完成

ショートステイ

日に日に涼しさも増し、10月を
間近にひかえた今日、利用者さん
と一緒に十五夜の団子へ本物では
くさってしまつたため、利用者さん
の案によりティッシュで丸めた団
子」を作りました。

九州で30年前に夫を亡くし、以
後一人暮らしを続けていたAさん。
腰痛で入院後、一人での生活が難
しくなり春日井の長男宅に引っ越
して来ました。しかし、たくさんの

居宅介護支援事業所

思いやりの心



新任職員紹介

(10月1日付)

生活指導 二浦 敬 朗



大きい団子、小さい団子を台の上に
乗せてみると、見た目の良いお月
見団子が完成。利用者さんは、そ
のお団子をつれしように眺め、「こ
れが本当に食べられたらいいのに
ね。」と口々に話されていました。
今から十五夜が楽しみですね。

床ずれ防止&体位変換エアマット
「クレイド」

体位変換
が十分確保
できない方、
浮腫、腹水、
痛みがある
方、骨突出、
拘縮、ムレ
がある方におすすめのマッ
トレスです。
超低圧で安定感のある身
体保持を実現。設定した体
位変換動作を自動で繰り返
します。体重設定や底つき



福祉用具貸与事業所

して来ました。
1カ月が経った頃、家族で東京
へ出かける用事ができました。A
さんは「体力に自信が持てないの
で行きたくない。留守番をする。」
と言われます。長男は「いい機会
だから東京見物させたい。」長男
の妻は「母を一人おいて出かける
のは心配だから私も東京へは行か
ない。」とお互いを思い合い、話
がまとまりません。ケアマネジャ
ーも交え話し合ったところ、Aさ
んの「春日井にもショートステイ
があるのならそこに泊まりたい。」
の一言で決定しました。
それぞれの立場での気遣いや思
いやりの心、そして何より本人の
気持ちを尊重しながら支援してい
きます。

ヘルパーステーション

100歳おめでとうございます



▲春日井市長から
表彰状をいただく

ヘルパーを利用して6年にな
るMさんが100歳を迎えられました。
元気にここまで生きてこられた
のは「愛がそこにあるから」と言
われます。「牧師をしていた頃、囚
人の方を前に講演をされ、皆さん
に今日お会いできたことが嬉しい
と話しかけると、私の話に心を傾
け泣いて喜んでくださいましたヨ。
人固である以上誰も間違いを起こ
すのは当然です。そこを改め、誰
も見えない所でいいことをする。
その気持ちこそが美しい。」と氣
迫のある声とやさしい眼差しで語
って聞かせてくださいました。帰
る際には「この年寄りのおかげで
さした。」といつも声を掛けてくだ
さり、しっかりと人柄にいつも
私たちが身が引き締まる思いです。
防止のための調整が不要。カパー
内のエア循環方式による除湿機
能で寝床内のムレを低減します。
興味のある方は、ぜひご相談くだ
さい。

デイサービス

足湯でリラックス

足湯とい
つてもお湯
ではなく、
足をぬらす
ことないセ
ラミックの
ボールで暖
める足湯が、
デイサービ
スで人気を集めています。



▲快適な気持ちいい!

遠赤外線の効果と、セラミックのボールが足のツボを刺激する二重作用で、血行が促進され、足がポカポカします。いつまでも温かいと利用者さんから好評です。これからの寒い季節にはますます人気者になりそうです。

グループホーム

料理はお手のもの

グループホームでは、朝昼夕の二食を利用者さんと共に作ります。利用者さんによってできることは様々ですが、その利用者さんのできることをやっていただいています。

朝は、主にみそ汁作り、昼・夕は、野菜を切ったり、すったり、ゆでた野菜をしぼったり、いため

訪問入浴サービス

夏の疲れをお風呂でリフレッシュ

猛暑だった夏も終わり、秋の気配もところどころ感じられます。この時期は暑かった夏の疲れが一気に表れてくるようです。いつの季節も疲れを癒してくれるのはやっぱりお風呂。ゆつくりと鼻歌など歌いながら気持ちを取りフレッシュしていくことが、生きる活力につながっていきます。

ご自宅でお風呂に入るのが難しいKさんは我々を心待ちにしていたに聞いています。いつもおっしゃる言葉が「あ、本当に気持ちいいことです。また頼みますね」と。こちらもとてもうれしく思います。そんな皆様に最高のサービスが提供できるようにスタッフ一同いつも考えています。



▲おいしくなるよう心をこめて

たり、味付けしたりと、皆さん自慢の腕をふるってくださいます。女性の利用者さんはベテラン主婦であつた頃の力をみせてくださり、職員が利用者さんに教えてもらって毎日です。

ケアハウス香縁苑

♪出た出た月が♪
丸い丸いまんまるい♪
夕涼みがてらお月見会♪

中秋の名月、9月25日(火)、シヨートステイ岸上にてお月見会を行いました。

まだ明るい空にうつすらと満月の姿が。皆さん「あ! あつた!」、「日本列島でいうと九州に隠れてる!」と雲隠れする満月を楽し気に探しました。お団子を食べながら満月を愛で、薄暗くなったところで花火大会。めずらしい花火の数々に目を輝かせつつ、続宴に終わりをつけました。



▲総合体育館で行われた市の敬老会に出席。立派な式典と演奏でした。



▲ピンク・白・茶のお月見団子に舌鼓

10・11月の行事予定

- 10月18日(木) レントゲン撮影
- 10月20日(土) 春日井まつり
- 10月30日(火) 童謡の広場に参加
- 11月上旬 誕生会
- 11月18日(日) 茶話会
- 11月中旬 福祉のつどいに手作り品バザー出店
- 11月中旬 インフルエンザ予防接種一回目
- 11月中旬 ワックス掛け
- 11月中旬 秋の行楽
- 12月中旬 インフルエンザ予防接種一回目

第2春緑苑

皆で敬老の日を祝いました

9月17日(月)、敬老会を行いました。第一部として敬老会

スペシャルメニューによる食事を実施しました。お赤飯に加え、利用者さんの大好きな天ぷらや茶碗蒸しを食べられました。



▲利用者の皆さんは、きれいな衣装をまといステージで踊る姿に夢中



▲自然と利用者さんから拍手が聞こえてきました

第二部として地域交流センターにて奥村鋭男さん始め犬山歌謡推進協会の7名の皆さんにご来苑いただき、演芸会を行いました。「岸壁の母」や「東京キッド」、「春日八郎メドレー」など懐かしい歌や舞踊を披露していただきました。利用者の皆さんからは、曲に合わせて手拍子をしたり、「知っている曲が多くてよかったわ。」「思わず口ずさんでたよ。」と言っていただけたりと、大好評でした。

これからも元気でいないとね!!

9月17日(月)、春日井市総合体育館で行われた敬老会へ利用者さん7名、職員5名で参加しました。

今年初めて参加された利用者さんは「みんな元気だから、私も負けずに元気でいないとね。」と地域の参加者の皆様から元気をもらっていました。



▲「元気で長生きします!」と敬老会会場で気持ち新たに

きれいな歯をいつまでも

9月27日(木)、各ユニットにて、愛知県歯科医師会主催の「8020運動」の表彰を行いました。これは、80歳になっても20本の歯を残そうという運動です。

今年も昨年よりも多い、9名の利用者さんが表彰を受けました。受賞された方は「いつまでも自分の歯で食べられるのは幸せなことね。」とおっしゃっていました。これからも利用者さ



▲賞状と賞品をいただきました

ん一人ひとりの口腔ケアに努めていきます。

●10・11月の行事予定

- 10月24日(水) 理美容
- 10月29日(月) レントゲン撮影
- 10月30日(火) 誕生会
- 10月31日(水) インフルエンザ予防接種

●新任職員紹介(10月1日付)

●特養



介護職員
中井 良

満腹！満腹！！

9月4日(火)、利用者の皆さんが楽しみにされていた中華バイキングを行いました。エビチリやあんかけやきそば、かに入り中華スープ・杏仁豆腐などを思い思いに堪能されておられました。



▲「おいしそう」という声があふっていました

民謡に拍手喝采！



9月16日(日)、民謡慰問で「三味線家」の皆さんに來苑していただきました。三味線、尺八、太鼓



▲太鼓の心地よいリズム、癒しの尺八、歯切れの良い三味線、そして透き通った歌声…素直でした



に合わせて利用者さんにも馴染みの、ソーラン節や郡上節、花笠音頭などの民謡が披露されました。皆さん熱心に耳を傾け、その素敵な歌声に聞きほれていらっしやいました。

そのすばらしさにアンコールの拍手が次々起こり、予定時間を延長して演奏していただきました。終了後も利用者さんからは「またぜひ来てください。」との声がかれ、名残惜しそうでした。

地域包括支援センター

11月の福祉講座のご案内
「うつ予防と認知症予防」

- 【日時】 11月15日(木) 14時～15時30分
- 【講師】 医療法人医誠会 東春病院
院長 齋藤 隆 可氏
- 【会場】 特別養護老人ホーム第2春緑苑
地域交流センター
- 【定員】 45名
(定員になり次第
申し込み締め切りになります)
- 【参加費】 無料
- 【申し込み先】
電話 (0568)56-9166
担当 田中、青山、
多治見、河南



職員リレー随想

2年目：そしてこれから

特別養護老人ホーム第2春緑苑
副主任 伊藤 辰也

第2春緑苑が開設して、早2年目を迎えることができました。1年目は無我夢中(暗中模索)の中、過ぎ去りました。2年目を迎えるにあたり、1年以上の質の高いサービス提供は当然のことといえます。まだまだ歴史の浅い当施設においては、同じ春日井市にあり、20年以上の歴史のある春緑苑があることは、おおいに助かりました

し、お于本のような存在でした。今後はユニットケアを中心とした施設の独自性を創出することが課題です。

職員一人ひとりが利用者さんにごでの生活をできるかぎり満足して送っていただけのように、期 会の精神で前向きに取り組み、結果は白ずとついてきます。これから5年10年：歴史を積み重ねていく中で、「選ばれる施設作り」「入所させたい(または入所したい)施設作り」を目標としての「仕組み作り」が大切なことだと思っています。

春日苑



9月19日(水)に春日苑の食堂でゴロバレー交流会が行われました。対戦相手は、一宮市のかすみ草。ゴロバレー歴2年の新しいチームです。10月5日(金)の愛知県人会を前に、練習試合をしたいと申し込みがあり、実現しました。

第1試合開始。かすみ草は緊張しつつも声がよく出ています。11対15で春日苑の負け。第2試合、春日苑も意地を見せました。第1試合よりもパスが回り、15対11で今度は春日苑の勝利！全勝とはならず、課題の残る結果でした。



障がい者生活支援センターによる 民生委員との連携

9月28日(金)、地域包括支援センター春緑苑・あさひが丘の職員が主催した民生委員による「坂下地区高齢者支援活動連絡会」に、福祉課と2つの障がい者生活支援センターが参加しました。

当日の連絡会では、各支援センターの紹介と活動内容について説明をしました。その後、私たち春日苑障がい者生活支援センターから事例を出し、今後の生活に向け、どのように支援したらよいかを参加者全員で討論しながら課題解決につなげていきました。

地域で活躍している民生委員を通して障がい者の方々と少しでも情報交換ができれば、もっと相談の輪が広がり、地域生活の不便さがなくなっていくと思います。

今後も民生委員の方々と連携し、地域で支えあっていける環境を作っていきたいと思っています。

【お問い合わせ】

TEL (0568) 88-17637
FAX (0568) 88-5704
Eメール: kasugaien@mc.ocw.ne.jp
担当 渡辺・住岡まで

●10・11月の行事予定

10月17日(水) 健康診断
11月8日(木) レクの日

ワーカー鷹采

学校祭に参加しました

9月8日(土)に春日井小牧看護専門学校に学校祭にてパンを販売しました。「ふわふわベーカリー」をもっと地域の方々に知ってもらうために、チラシや試食も用意し、学校祭へ向かいました。



▲「試食です。どうぞ！」皆さんに好評

店には、地域の方々や学校関係者の方々がたくさん来てくれました。売れ行きは大変好調で、昼前には完売してしまいました。完売後にも、「食べたかったのに、おいしいかったからまた買いに来たのに。」など嬉しいお言葉をいただきました。

この人だから！▶



◀「おいしいパンを買いに来ました。」

この機会をきっかけに「ふわふわベーカリー」の輪を広げていきたいです。

春日井小牧看護専門学校の皆様、ありがとうございました。



▲皆様、ぜひ買いに来てください

とよた苑

いつまでもお元気で
ほのほの1週間



▲ご長寿おめでとうございます。これからもお元気で。

9月は敬老月間ということとよた苑でも様々な行事や慰問が行われました。
特に10日(月)から15日(土)の1週間は、大変にぎやかでした。まずは10日(月)、テレビなどでも活躍されている歌手の歌川三三子さんと武生をどりの皆様の慰問から始まり、12日(水)はお茶会が開かれ、抹茶と和菓子がるまわりました。また、14日(金)はとよた苑の敬老会が行われ、長寿の方、健康優良者の表彰、美里コーラスの慰問、サンホーム豊田の音楽隊の発表、職員の出し物など大いに盛り上がりしました。さらに15日には

救急研修会で学ぶ

8月から来年1月まで毎月職員全体会議の日に消防署の救急隊員の方を講師に招いて研修会を実施しています。

内容は心肺蘇生法やAEDの取り扱い方、高齢者に対する心臓マッサージや吸引の仕方など施設職員のみならず、とても役立つものになっています。
この研修会でしっかりと学び、

民謡三友会の皆さんの演奏があり、とても充実した1週間でした。

とよた苑の最高齢の方は、明治39年生まれの101歳の方で、90歳以上の方もたくさんいらっしゃいます。

いつまでもお元気で過ごしてください。



民謡三友会の
おもしろい演奏

美里コーラスの
歌声に感動

落ち着いて適切な行動がとれるよう努めていきます。



▲心臓マッサージの練習に皆、真剣

万が一に備えて

非常呼集訓練

9月1日(土)の防災の日、14時57分、東海地方に震度7強の地震が発生」という想定で、全職員を対象に非常呼集の訓練を行いました。

全職員が集合し、反省会と炊き出しを行い解散となりました。いつ来るかが分からないのが天災です。備えあれば憂いなし。改めて防災の意識を持った一日でした。

新任職員紹介

(10月1日付)

特徴



有造職員 滝澤都子

居宅介護支援事業所

家族(介護者)の思い

先日の訪問にて介護者の方から伺った話です。

先相の法要で、親せき一同が集まる機会がありました。久しぶりに利用者さんへ会った親せきの方々は、認知症の進行にとても驚かれ、「一緒に生活するのはとても大変なことだね。」と言われたそうです。自分達の苦勞を少しでも親せきの方々に理解してもらおうことができ、とてもうれしかったそうです。

地域包括支援センター

平成19年度全国地域包括在宅介護支援センター

第1回研修会に参加して

相談員 松下 篤史

8月30日(木)・31日(金)の2日間にわたり全国社会福祉協議会で行われた平成19年度全国地域包括在宅介護支援センター第1回研修会に出席させていただきました。

研修の内容は、療養病床の再編成について、地域包括支援センター等の現状と課題、高齢者虐待について話がありました。

この研修で地域包括支援センター・在宅介護支援センターの役割について再認識できました。

ヘルパーステーション

10周年を迎えて

とよた苑ヘルパーステーションも今年の10月で開設してちょうど10周年になりました。

この10年の間で制度も変わり、色々と変化に富んだ10年でした。その中でなんとか無事に乗り越えてこられたのも利用者さん始め、多くの人の支えがあったからこそと思っています。

これからも人との縁を大切にしながらがんばってまいりますのでよろしくお願ひします。

福祉用具貸与事業

立ち上がり支援

今回は立ち上がりを助ける商品のご紹介です。



天板付移動支援パーは、天板部分に肘をついて立ち上がることででき、リウマチなどで手すり握りにくい方にも適しています。テーブルとしても利用でき、立ち上がりを助ける高さに程良いものとなっています。お気軽にご相談ください。

ケアハウス豊田

ゴミ・環境への関心!!



▲「暮らし」|地域|「処理・処分」をテーマに学ぶ環境問題には皆さん興味津々

9月7日(金)、車で約20分程の所にある渡刈クリーンセンター(新清掃工場)及び環境学習施設(エコット)へ日帰りツアーに出かけました。

家庭から出たゴミがどのように処理されていくのが、その工程を目の前で見る事ができました。「すごいゴミの山だったよね。」「あんなの見たら自分もちゃんと出さなきゃって思ったよ。」「ケアハウスでもゴミの出し方、考えんといかんね。」などと、皆さんに環境への関心意識を持っていただくことができました。

その後、ゴミ焼却で沸かしている近隣の入浴施設(豊寿園)へ温泉に入りに行きました。「昔はよく入りに来たよ。」「こここの湯の効能はよかったよ」と満足されていました。



▲ちょうどトラックからゴミが運ばれてきたところが見られました。「どんな国になってるの?」



▶案内の方に「フットー」丁寧に説明していただきました。「ゴミの分別って難しいね」

金・銀・赤・緑のメダルを胸に☆



▲90歳以上の方が7名いらっしゃいます

9月17日(月)、卒寿・米寿・傘寿・90歳以上の方々、計14名の長寿をお祝いしました。一人ずつ年齢が紹介されると、「90歳の方が増えたね。」と感心される方、「私も頑張らないと。」と言う方があり、他の利用者さんの良い刺激にもなっていました。

また、紅白まんじゅうと桜茶、お抹茶をふるまい、敬老の日を皆でお祝いしました。

とよた苑デイサービス

「元気の会と詩吟」

の皆様慰問



▲3人揃って見事な演奏です

9月13日(木)に敬老会の催し物の一つとして「元気の会と詩吟」の皆様が慰問にいらっしやいました。

普段ボランティアとしていらっしやっている、絵手紙や詩吟の先生が中心となっている団体とあって、顔なじみの方が揃い、利用者の皆さんも、大きな拍手で迎えていらっしやいました。太鼓・三味線・踊りなど一時間程披露していただき、フロアは大盛り上がりでした。皆さん元気を一杯もらって、暑い残暑も乗りきれそうです。

神無月句会

送迎のバスに揺られてとよた苑

着けば楽しい友達がいる

田口下江子さん

夏負けを回復できる秋が来た

那須 源吉さん

胸のうち語り合いたる吾何処

夢の如くに消えませしとは

神谷みのるさん

とよた苑訪問入浴

静水圧作用で疲労回復

前回に続き「入浴」の効能について話をしましょう。

今回のテーマは「静水圧作用」。入浴中に受ける静水圧は、体表面の静脈血を急速に心臓方向へ押し上げます。すると心臓の血液循環を増加させ、心臓から押し出される血液量が増加します。その結果、なんと老廃物や筋肉に溜まった乳酸、疲労物質も体外に排出されるんです。

ん？難しい？ハイ、つまり、入浴で疲労回復できるのです。夏の疲労を入浴で回復させましょう。入浴ってすばらしいですね。

東山デイサービス

♪東山デイサービスの唄♪
♪上を向いて歩こう♪の替え歌

- ①街の外れに笑顔がある
ここは出会いの東山
私がいる あなたがいる
みんないるさ
〇〇さん 〇〇さん
〇〇さん 〇〇さん
- ②朝のお風呂でピカつるりん
昼はおいしいホット料理
私がいる あなたがいる
みんないるさ
〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん
- ③リハビリにミュージック
動いて唄って元気になるぞ！
私がいる あなたがいる みんないるさ
〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん
- ④今日は楽しく頑張りました
今度も笑顔で会いましょう！
私がいる あなたがいる みんないるさ
〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん 〇〇さん

明るく元気に唄う

ボランティアの坂本様がデイサービスの一日の流れを歌詞にして、歌を作ってくださいました。歌詞の合間には、利用者さんの名前も入れてくださり、それに対して、大きな声で元気良く「はい。」と返事される方もいれば、恥ずかしそうに手を挙げるだけの人もいたりと皆さんそれぞれに喜んでいらっしやいました。これから東山デイサービスで歌っていきなさいと思います。



▶ギターの弾き語りや歌っていたたきました



英銭女鼓様 銭女鼓に拍手喝采!!



◀寿翔会様 日舞にうっどり!!

他にもたくさんさんのボランティアさんが慰問に来てくださいました！

若草苑

めんバイキングでお腹いっぱい

若草苑では毎月1回カレーバイキングを行っています。めん類が好きな方も多くいらっしやるため、9月11日(火)昼食時、初めての試みでめんバイキングを行いました。

うどん、そうめん、そばの3種類を温かいつゆ、冷たいつゆで自由に食べていただきました。天ぷらも食べ放題/全部の種類を食べられた方、好きなものだけ食べられた方、様々でしたが、「おいしかった。」「お腹いっぱい。またやってね。」と喜んでいただけただけです。

マッサージ慰問をしていただきました!



▲全苑マッサージをしていただきました

▶「気持ちよくて、眠たくなっちゃう...」

9月9日(日)午前中、豊田市視覚障害者福祉協会の方々が利用者さんのためにマッサージ慰問に来てくださいました。この慰問は昭和30年代から毎年続いています。個人で開業されている方ばかりなので腕前はもちろんプロです。毎年この慰問を楽しみにしている利用者さんもういらっしやリ、マッサージの後には「あーよかった。体が楽になった。」「足が痛かったのが軽くなった。」との声が聞かれました。

▼「大満足! もうお腹いっぱいだー」



▲「早く食べた〜い!」めんは大好きです

若草苑デイサービス

若草苑のパーティシエたち

当センターでは、定期的に手作りおやつを行っています。利用者の方々に手伝いしていただき、今回は抹茶ケーキを作りました。

生地に入れる抹茶の量を調整しながら、混ぜたり焼いたり、皆さん慣れた手つきで行っていらっしゃいました。たくさんのケーキが完成し、皆

今年の夏は...



今年の夏は、記録的な暑さで皆さん過ごしていく日々を送ったと思います。

そこで、利用者の方々に「今年の夏、どのように過ごしましたか?」というテーマでお話を伺いました。

利用者さんからは、「家から大きな花火がきれいに観れたよ。」

さんからは、「おいしかった。」「いい色に焼けましたね。」といった声が聞かれ、できあがり満足しているようでした。



▶抹茶の香りが深いです



▶「おいしそうですね」

「お盆に孫が来てくれて、楽しく過ごしたよ。」「今年のすいかは甘くておいしかったよ。」などの思い出話を聞くことができました。皆さんそれぞれに楽しく過ごされていました。

サンホーム豊田

水族館へ行ってきました

9月20日(木)に紙すき班メンバー13名で名古屋港水族館へ行ってきました。

水族館に入るとすぐに大きな水槽があり、皆さん「きれい！」と感動していました。他の水槽でも見たことがない魚を見て興味津々で見入っていました。イルカのショーでは演技に皆さん夢中になっており、その顔には笑顔がこぼれていました。

外出後、皆さんに感想を聞くと、「楽しかった。」という声を聞くことができました。



みんなアジャッチース♪



♪イルカってカッコいいね

チームで協力！ お月見リレーゲーム



▲たくさん釣れたね

9月21日(金)に、生活介護と合同でお月見会を行いました。全員で「うさぎ」の歌を合唱し、お月見リレーゲームで楽しみました。

お月見リレーゲームは、お月見にまつわる月見団子やスキのカードを竿で釣りあげ、後ろの人にまわして1枚の絵を完成させるゲームです。チーム戦で行い、すぐに釣れて喜んでいる方、なかなか釣れない方など様々でしたが、皆さん釣り針に集中して見つめる姿が印象的でした。

みんなでお祭りマンボ



▲わっしょいわっしょい

9月14日(金)、とよた苑の敬老会において、音楽クラブが発表を行いました。

敬老会に向け、週1回の練習を皆さん真剣に取り組み、おみこし

生活介護事業

皆さんがハマッたモノ？!

生活介護では、月に1〜2回、ビデオ鑑賞の時間を設けていますが、利用者さんの年齢層が18〜60才と幅広く色々な方がおみえになり、なかなか皆さんに喜んでいただける物がありませんでした。

ある日、1枚のDVDを手に入れました。そのDVDをセットすると、歌を歌われる方、踊る方、

や、まといを協力して作りました。当日は「聖者の行進」、「四季の歌」、「お祭りマンボ」、「サンホームの歌」を披露しました。緊張している方もいましたが、みんな笑顔で楽しみながら発表することができました。

●10・11月の行事予定

- 10月22日(月)・29日(月) お楽しみ外出
- 10月24日(水) 収穫祭
- 10月28日(日) 障がい者ふれあい交流 軽スポーツフェスティバル
- 10月31日(金) 生活基礎班外出
- 11月7日(水) 誕生会・保護者役員会



▲やっぱりドリフはいいね

大爆笑される方、テイルームの空気は一変し、皆さん夢中になりました。なぜ知ってるの？と思いつつ、お化け番組」と言われた所以を納得してしまいました。その後も「8時だよヨ！全員集合」を楽しまれている光景は変わりありません。

海外研修
レポート

デンマーク・リンデン・コペンハーゲン
障害福祉コース（デンマーク・スウェーデン）

春緑苑ヘルパーステーション 副主任 田中靖久

9月8日（土）から9月16日（日）までの9日間、デンマーク・スウェーデン・イギリスの福祉施設を視察しました。その概要を前・後編に分けて報告します。

9月10日（月） まずは最初の訪問国、デンマークはコペンハーゲン市内にある、公立の視覚障がい者施設「INSTITUTET」を視察。この施設は1968年に設立。自治体運営による福祉施設でスタッフ170名程度で、視覚障がい者へのセミナーや、職業トレーニングを行っている。



▲「INSTITUTET」日本の庭園を真似て造られた庭園

できるようにしてあり、小鳥を施設内で飼育している。小鳥の鳴き声によって今、自分が何処にいるのかを把握させるためだと言った。そして、視覚によって観賞ができない分、嗅覚で楽しんでもらいたいためにと、庭には匂いが強い木々や花々が植えられていた。

このスタッフが言うには、「この北欧は福祉の先進国とよく言われるが、我々もほとんど難問の壁に当たっている。そのため施設の役割を5つに分けている。」とのこと。①開発部②職業訓練部③リハビリテーション科④アドバイス科⑤宿泊施設と分けることにより、小さな難問から大きな難問まで、柔軟に対応できているように思えた。

次いでコペンハーゲン郊外にある「LEON KOLLEGEET」を視察。ここは1972年設立で、若年層（18〜45歳）の障がい者を対象にした施設である。入所施設だが、いずれリハビリを行い、自立した生活を送るのが目的であり、全国の誰でも利用できる。ここで集中的にリハビリを

行い、何らかの支えがあれば独立していけるように、作業療法士（OT）・理学療法士（PT）・神経アドバイザーが配置されている。

年々、最新の医療機器によって人の命を救うことが可能になってきた。しかし、今後はどうやってその命を生かしていくのかを考えると、なくてはならない。資金をほとんど使わないことよりも、スタッフの質の向上とともにスタッフの指導が重要となってくる。各部門の専門医がいて、その専門医と協力していくことによって、利用者のリハビリの効率もよく、自立支援になっていくのではないだろうか。

9月12日（水）デンマークの次は空路にてスウェーデンの首都ストックホルムを目指す。ストックホルムでの最初の視察は「BACKLURAGROUP HOME」で、ここは9名の知的障がい者が入所されており、日本のグループホ



▲アンマーク クロンボ一城



▲「BACKLURAGROUP HOME」所長エナミーさん（右）とスタッフ

ームのような施設であった。この施設では必ず利用者で専用担当者一人につき、いつでも一対一の介助が可能であるという。日本では少し考えられない手厚い配置であった。施設内も家庭的な暖かみのある工夫が凝らされており、利用者のことを考えた施設作りがされていると感じた。

（後編へ続く）

編集後記

今年の残暑は非常に厳しいねえ。と、いいながらも、花便りではコスモス・紅葉、食では栗、さんま・松茸などの情報を耳にするようになりました。

虫の鳴き声からも秋の気配を感じる頃となりました。食欲の秋を迎えるにあたり、偏った食事、不規則な食生活に気をつけ、生活習慣病の予防に努めて体力をつけましょう。

この広報紙に掲載した個人情報は、本人もしくはご家族の同意を得て掲載しています。